

2023_0714「巣箱内のクモの巣とり（動画）」日々の理科 3264号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

当方が北軽井沢に設置しているシジュウカラの巣箱は、内部にカメラを設置するために、通常の巣箱よりも背が高く造ってあります。従弟の木工名人に頼んだ特注品です。背が高いので、シジュウカラが届かない天井のカメラ付近にはクモが巣をつくることがあります。

今回もクモの糸がカメラの前を横切って映像に映り込み、観察の邪魔になってきました。特に巣立ちの一瞬は鮮明な映像を残したいので、クモの糸を除去することにしました。

巣箱には天井と側面に、メンテナンス用の扉があります。しかし雛がいる時に開けると、親鳥が世話を放棄する恐れがあります。そこで、モール状の針金を曲げて巣箱口から差し込み、クモの糸をからめ取ることにしました。

私が巣箱に近づくと、親鳥が警戒音を出し、雛たちは死んだようにじっとしていました。しかし2回の掃除で、クモの糸はすっかり除去されて、映像も鮮明になりました。親鳥も何事もなかったように世話を続けていました。

(2023年7月中旬／北軽井沢)

